

**【旧南ベトナム大統領官邸=統一会堂】**

**住所** 135 Nam Ky Khoi Nghia, Dist.1, HCM City

**電話番号** 08-3822-3652

**営業時間** 7:30 - 11:00 / 13:00 - 16:00、年中無休

ホーチミンに来る人の中で歴史に興味のある方などは「ここを見るために来る！」という方も多い、統一会堂。

ベトナム戦争の終結を象徴した、サイゴン陥落の現場です。ベトナム現代史を身近に感じることができるスポット。

会堂を背に団体写真を撮るのみの立ち寄りでも人気があります。観光所要時間は約 1 時間 30 分ですが、

お好みにより調整することが可能です。



門の中には広大な敷地が広がり、午前中は観光客で混雑していますが、午後は比較的すいていてノンビリした雰囲気。

手入れの行き届いた庭の先に見えたのは 2 台の戦車が置いてあります。1975 年 4 月 30 日、このこの門をベトナム解放軍の戦車が無血入場し、事実上ベトナム戦争は終結しました。南ベトナム時代の大統領の官邸としてのきらびやかな表情と、軍事会議室や脱出のためのヘリポートなど随所にみられる戦争という歴史、そしてこれからの統一という未来に向けたメッセージが感じられる、ベトナムにとっては特別に意味のある場所なのです。



広い廊下から中庭を眺めながら、100 以上もある立派な部屋のひとつひとつを見て回ると、ローマ建築優秀賞を受賞した最初のベトナム人建築家、ゴベトウが建てたこのドクラブ宮殿がいかに優美で華麗なものかを実感することができます。



慶節室は今でもサミットなどに使われます

内閣会議室

国内賓客応接室

台湾から贈られた龍と鳳凰のカーペット。龍と鳳凰は「権力の象徴」を意味しています。

作戦会議室では生々しい戦争の情景が感じられます。このお部屋で南ベトナム政府軍の戦術やどんな武器を使うかの策が練られました。



狭いスペースに作られた無線室、緊迫した雰囲気

指令室

国書提出国書提出室には壁一面にとても立派な漆絵で国の歴史の物語が描かれる

こちら脱出用の扉は地下通路へと続き、さらにはタンソンニャット空港まで道が伸びる



大統領への贈り物は他にもありました。象の足や船の模型。これら残っているものはわずかで、実際は大統領がタイに亡命する際に貴重品を持ち出していったそうです

お土産コーナーでは漆絵や、ジッポ、絵葉書などが販売されています。



大統領の寝室です。今は使われていないので何となく古びた感じがしますが、寝具などを置けば雰囲気が出そうなインテリア。「第一夫人 貴賓室」大統領の奥様がお友達を呼ぶためのお部屋です。「第一夫人」と書かれてはいますが、大統領に奥様は一人でした。

映画室やマージャン台が置かれた娯楽室、ピアノやビリヤード台まで置かれていました。ベトナム戦争が行われていたさなかに、このきらびやかな社交場が使われていた現実もあります。

最上階にあるのが大統領のお気に入りだったというダンスフロア



ダンスホールのすぐ横にあるヘリポート

窓の外には正面に一本まっすぐとレユアン通りを見ることができます。この道を解放軍の戦車が通ってきた場所です

統一会堂は過去 2 回再建されており、建物の名前も 1873～1955 年は「ノンドン宮殿」、1955～1975 年「独立宮殿」、そして 1976 年以降は今の「統一会堂」と変わっていきました。

最初の建物はフランス領インドシナ時代の 1873 年に初めて建てられ、フランス知事やフランス総督によって使用されていました。1962 年クーデターが起こり、建物は壊れ、1966 年に再建され、その後ベトナム戦争終結までは大統領府及び官邸として使用されていました。1975 年にもう一度再建されたものが今の建物です。

現在は、国賓を迎える時や会議に使われる時以外は、一般に公開されています。建物は地上 3 階、地下 1 階の 4 階建てで、屋上も開放されています。